

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 山陽化学産業株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 673-0883 兵庫県明石市中崎一丁目 9-7
----	---------------------------	----	--

本票作成 | 部署名：阿哲工場

主たる業種 | 分類コード 21 | 業種名：窯業・土石製品製造業

事業の概要 | 炭酸カルシウム製造

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	阿哲工場	岡山県新見市正田163番地

特定事業者の該当要件 | ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ③CO₂換算3,000t以上
(工場等の数 1 所 車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 26)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	10,739 t CO ₂	11,477 t CO ₂	11,000 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26)年度排出量
	①	阿哲工場	11,477 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 22 年度 ~ 平成 26 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(26)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 7.3 %	6.2 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(26)年度	目標年度
		888 kg CO ₂ /(kg)	953 kgCO ₂ /(kg)	833 kgCO ₂ /(kg)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

省エネルギーのための設備計画立案を行ったが、予算的な都合もあり必要最小限の計画しか実行できなかった。
またこの数年間で、各製品について多品種小ロット化の傾向が強くなってきている。当社としても、特殊品の製造による付加価値の向上を目指しているため、どうしても切替が増え、生産性は悪化してきている。このため原単位当たりの温室効果ガスの排出量が増加した。

【推進体制】

工場会議として工場の全体会議を毎月開催し、省エネ・生産性向上についての検討を行っている。この会議で提案された対策については、担当者とスケジュールを決め、進捗状況を次の工場会議の場で発表し、全員で評価・検討を行いPDCAを回している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
阿哲工場	(26年度実施分) 清水タンク送りポンプ7.5kwを 2.2kwに変更 (今後実施予定分) ボイラー設備の統合・スチームヘッダー取付 (Co2排出量削減 336t/年) ドライヤー設備新設・旧設備撤去・周辺レイアウト変更 (Co2排出量削減 124t/年) フォークリフト更新時、電動リフトへの変更 (Co2排出量削減 7t/年) 高効率トランスへの変更

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--